伊賀市議会だより

No.62
2020.8.1

にこにこルーム

元気の秘訣が詰まった活動

ボーイズ&シスターズ

おそろいの帽子とエプロンでパチリ！

こんにゃくいも植え

私たちの小さな6次産業

シスターズレストラン

数々の手作り料理でおもてなし

ふるさとづくり上高尾の会

関連記事は14ページ

市民の声は反映されている？

「新型コロナウイルス感染症対策支援パッケージ」

臨時会（5/22）及び6月定例会（7/1最終日）に新型コロナウイルス感染症対策にかかる補正予算が提出され、審議を行いました

【補正予算の概要】

第２弾！

５つの方針		5/22 臨時会		6 月定例会	
		事業費	主な事業	事業費	主な事業
1	市民の皆さんの暮らしを守ります	5,713万円	〈住居確保給付金〉感染症の影響により住居を失うおそれがある方への支援として、給付金の支給対象を拡大	2億84.6万円	〈水道基本料金の減免〉感染症による各家庭・事業所の経済的な影響への支援として、水道の基本料金を４カ月分減免
2	事業者の皆さんを守ります	4億7,851.5万円	〈小規模事業者への応援給付金〉感染症拡大を受け売上高が減少した事業者等に対し、事業継続を支援するための給付金の交付	2億6,987.4万円	〈プレミアム付商品券の発行〉地域経済再生のための消費誘導策としてプレミアム付商品券を発行
3	医療体制を守ります	2,963.1万円	〈衛生資材の医療機関への配布〉一次救急体制充実のため、消毒液・マスクなどの医療資材を各医療機関へ配布	867.3万円	〈救急搬送時の資機材の購入〉救急搬送時における感染症予防のため、必要な機材を購入
4	子育て・教育を守ります	5億1,864.8万円	〈小中学校の家庭学習支援〉臨時休業により、小中学生へ１人３千円の図書カード配付	7億7,339.1万円	〈GIGA スクール構想の実現〉感染症の影響による国の GIGA スクール構想の加速により、児童・生徒１人１台のタブレット端末購入
5	公共施設感染拡大防止に努めます	3,040.2万円	〈感染拡大防止用資機材の購入〉公共施設での感染拡大防止のため、消毒液・飛沫防止シートなどの資機材の購入	2,202.6万円	〈文化会館空調設備の改修〉感染症拡大防止の観点による空調設備の更新
その他				6億円	〈新型コロナウイルス感染症対策基金積立金〉第２波、第３波による感染に備え、基金を積み立て
パッケージ　計		11億1,432.6万円		18億7,481万円	

5/22 臨時会

〔・一般会計補正予算（第２号）
・国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）〕

全員賛成で可　決

質　疑（本会議）

問 事業者応援給付金事業について、事業者は申請しやすいものとなっているか。

答 なるべく簡易な方法により、手続きがとっていただきやすいようにしたい。基本的に郵送していただくが、支所の窓口でも提出は可能である。

討　論（本会議）

賛成 新型コロナ感染拡大や、第２波、第３波による更なる影響も想定し、補償は継続するとともに、地域経済を守り強くするための投資が行えるよう、情報収集、分析を強化しながらスピード感を持って取り組んでほしい。また、市長自ら施策パッケージの情報発信に努めてほしい。

6月 定例会

〔・一般会計補正予算（第４号）
・水道事業会計補正予算（第１号）〕

全員賛成で可　決

質　疑（委員会）

問 水道基本料金の減免について、対象となる「感染症の影響で売り上げが 30％以上減となった事業者」とは、どのように判断するのか。

答 新型コロナウイルスに関する支援策にかかる市の事業者応援給付金または国の持続化給付金の要件に該当する事業者が対象で、いずれかの給付決定通知書の写しを添付し申請いただきたいと考えている。

問 子ども達へのマスク配付の必要性は。またいつ配付するのか。

答 保護者から熱中症の心配や不安がある中で、夏用マスク配付の要望がある。できるだけ涼しい素材のマスクを配付し、熱中症対策を講じたい。配付時期は7月中に1枚、夏休み明けにもう1枚（合計2枚）配付予定である。

6月定例会

6月4日～7月1日（会期28日間）
補正予算や条例の改正などを含む41件の議案を審議

伊賀市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定

全員賛成で 可決

地方自治法の改正に伴い、市長や市職員などの損害賠償責任における市長等の負担すべき額（最低責任負担額）及び免責する額を定めます

質　疑（委員会）

問　軽度の過失という判断はどのようにするのか。

答　裁判により判断される。故意であるという判決が出たら、本条例があっても免責はされない。

問　監査請求や訴訟が無い場合にも適用されるのか。

答　本条例は、住民訴訟により市に損害を与えたと判断された場合に適用されるため、監査請求や訴訟が無い場合は適用されない。

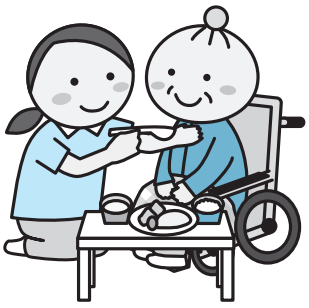
討　論（委員会）

賛成　職員の善意による小さなミスなど、この条例に適用されない部分についても、職員が安心して執務が行えるしくみを構築することを要望する。

伊賀市介護保険条例の一部改正

全員賛成で 可決

消費税率10％への引上げに合わせて段階的に実施している市民税非課税世帯に対する介護保険料の軽減措置を、本年度分以降の介護保険料から完全実施します



質　疑（委員会）

問　次回の介護保険料の見直しはいつか。また、今回の軽減措置後の基準で検討していくのか。

答　介護保険料は３年ごとに見直しており、次回は令和３年度である。 現在は計画の策定段階であり、そのような考えも踏まえ進めていきたい。

伊賀市立上野総合市民病院の診療報酬額の基準及び使用料、手数料等に関する条例の一部改正

全員賛成で 可決

国の省令の改正により、紹介状なしで受診等した場合、令和2年10月1日から選定療養費が徴収されます

【紹介状なしで受診した場合の徴収額】
初診時選定療養費　5,500円（税込）
再診時選定療養費　2,750円（税込）

質　疑（委員会）

問　紹介状なしで受診される方は年間どれくらいか。また、現在の選定療養費の徴収はどうなっているか。

答　昨年度の実績では約 4,500 人である。また、現在、選定療養費の徴収はない。

問　今後、初診時選定療養費の 5,500 円は大きな負担となるが、市民への周知と負担減となる方法はあるか。

答　市民への周知については、院内での告知、広報紙、ホームページなど多様な手段を活用したい。また、施行は 10 月１日であるため、それまでの間に充分な周知を行っていきたい。さらに、救急患者等の例外を除いては負担が必要となるので、開業医から紹介いただけるよう連携を図っていきたい。

討　論（委員会）

賛成　市民にとっては、負担増となることは間違いないため、それを上回る医療体制の充実などについて、市民に丁寧な説明をしていただきたい。

議員提出による

新型コロナウイルス感染症に関する　2議案　いずれも否決・・・

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等により停滞した市内の景気回復を目指す条例の制定

賛成少数で 否　決

新型コロナウイルス感染症拡大防止により市内の経済が危機的な状況であるため、市、市民及び市内の事業者等が協働し、市内の資源を活用した経済の促進を図り、地域経済の一刻も早い回復と市民生活の向上を目指すための条例を制定します

討　論（本会議）

賛成　• 市民・事業者が望んでいることなのでスピード感を持って条例を制定すべきである。

反対　• 発注基準がある中で本条例制定では何も変わらない。また、市民や事業者から意見を求める必要がある。

伊賀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

賛成少数で 否　決

令和2年7月から令和3年3月までの9ヶ月間の報酬20%及びそれに伴う期末手当を減額します

（減額した費用は、新型コロナウイルスにかかる市民や市内事業者に対する支援のための財源として充当することを求めます）

討　論（本会議）

反対

• 会派代表者会議で全会一致とならなかった経緯などを考慮すると時期尚早である。
• 議員のパフォーマンスと受け取られかねない。

審議した議案と各議員の賛否

臨時会（5/22）

全員賛成で可決（承認を含む）した議案

市長提出議案	● 令和２年度伊賀市一般会計補正予算（第２号） ● 伊賀市市税条例の一部改正 ● 伊賀市国民健康保険条例の一部改正 ● 専決処分の承認（令和2年度伊賀市一般会計補正予算（第1号）） ● 令和２年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号） ● 伊賀市国民健康保険税条例及び伊賀市介護保険条例の一部改正 ● 伊賀市同和奨学金支給条例及び伊賀市奨学金支給条例の一部改正

田中議員は欠席、近森議員は議長のため採決に入っていません。

６月定例会

件名		賛成：反対	議決結果	川上善幸	北森徹	信田利樹	西口和成	福村教親	宮崎栄樹	桃井弘子	山下典子	市川岳人	赤堀久実	嶋岡壮吉	田中覚	福田香織	森川徹	生中正嗣	上田宗久	近森正利	中谷一彦	百上真奈	北出忠良	空森栄幸	岩田佐俊	安本美栄子	中岡久徳
議員提出議案	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等により停滞した市内の景気回復を目指す条例の制定	8：15	否決	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	—	×	×	×	×	×	○	×
	伊賀市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	8：15	否決	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	—	×	×	×	×	×	○	×

全員賛成で可決（同意・承認を含む）した議案

市長提出議案	● 令和２年度伊賀市一般会計補正予算（第３号） ● 伊賀市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定 ● 伊賀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び伊賀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ● 訴えの提起 ● 専決処分の承認（伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）） ● 令和２年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算（第１号） ● 史跡伊賀国庁跡保存整備事業指導委員会条例の制定 ● 伊賀市介護保険条例の一部改正 ● 伊賀市後期高齢者医療に関する条例の一部改正 ● 伊賀市立上野総合市民病院の診療報酬額の基準及び使用料、手数料等に関する条例の一部改正 ● 専決処分の承認（伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）） ● 監査委員の選任（鈴木陽介氏） ● 農業委員会委員の任命（玉岡 則生氏、西田 富司夫氏、藤室 明生氏、坂本 榮二氏、福地 和幸氏、吉岡 康夫氏、森本 吉光氏、中井 悟雄氏、北川 俊一氏、西山 治良氏、前田 啓生氏、髙田 満氏、大田 信昭氏、木下 賢一氏、山口 進氏、森中 祐作氏、福森 克美氏、奥沢 輝道氏、金谷 博一氏、山本 好啓氏、宮本 長生氏、森下 清悟氏、森下 光子氏、垣内由佳氏） ● 令和２年度伊賀市一般会計補正予算（第４号） ● 伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定 ● 令和２年度伊賀市水道事業会計補正予算（第１号）

○印は賛成、×印は反対。近森議員は議長のため採決に入っていません。

支給はスムーズだった？
組織体制は万全？

特別定額給付金（10万円）支給事務の執行体制は（検証）
今後想定される「新型コロナウイルス感染症」第2波、第3波への対策は

■総務常任委員会■

新型コロナウイルス感染症にかかる特別定額給付金の事務執行体制の検証と、第２波、第３波が発生した場合の、今後の対応等について調査を行いました

【質疑事項】

問 発送が遅れた原因の検証や、未申請の方への対応方法は。

答 誤発送がないように正確性を重要視した点、また、郵送時に判別しやすい様にオレンジ色の封筒を採用したことにより、封筒の納期が遅れた点が考えられる。未申請の方へは、メディア等の活用、民生委員や社会福祉協議会などの福祉部門等とも連携し啓発に努めたい。

【指摘事項】

・危機管理に対する指示命令系統、横の連携が不充分。
・総括的な判断をする部署はどこになるのか。
・第2波、第3波に備え、適切な組織体制を整備すべき。

▲給付金室の事務風景

ＧＩＧＡスクール構想における事業の考え方は

■教育民生常任委員会■

国が進める「ＧＩＧＡスクール構想」における「児童生徒1人1台端末の導入」及び「高速大容量の通信ネットワーク（校内ＬＡＮ）」の整備について調査を行いました

【質疑事項】

問 学校が休業になったことを想定して、Wi-Fi ルーターの貸し出しは検討しているのか。また今年度中にタブレットパソコン約 7,000 台を確保できるのか。

答 Wi-Fi ルーターは、約 800 世帯、全児童 2 割程度への貸し出しを想定している。タブレットは、できるだけ早いうちに入札等の手続きを進め、全台数調達したいと考えている。

問 タブレット操作等は教員の負担にならないのか。また、教員によってあるいは学校によって指導レベルに差ができないのか。

答 なるべく教員の負担にならないよう配慮していきたい。また、すべての学校に同じ環境を整え、すべての教員が一定のラインまで使いこなせる研修を行い、差が生じないようにしていきたい。

支援策は十分？

新型コロナウイルス感染症に関する要望についての考え方は

■産業建設常任委員会■

市内商工関係団体から議長や市長に提出された要望書について、市の考え方や対応について調査を行いました

【主な要望と対応】

要望 飲食店応援の補助、特別給付金の市内利用促進や需要喚起のためのプレミアム付き商品券の発行について

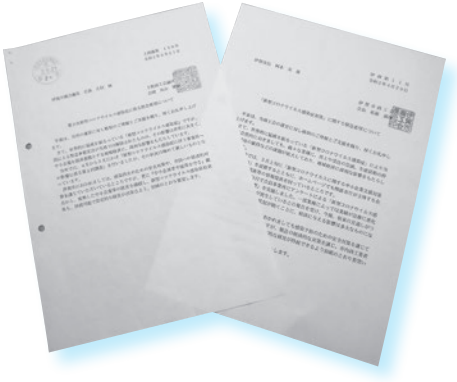
対応 飲食店のみの支援ではなく、市内全域での消費喚起や観光関連事業の支援などを考慮し、プレミアム付商品券の発行を検討している。

要望 中小規模事業者への助成金の交付について

対応 ６月８日から市独自で事業者応援給付金事業の運用を開始した。当該給付金は国の持続化給付金との併給はできないため、申請期限を持続化給付金より長くし、より多くの事業所へ応援できるようにしている。

要望 地元建設業支援のため、公共事業の早期発注と工期の確保について

対応 道路や上下水道などの公共工事については、年間工事の約 50%程度を６月末までに発注する見込みで、今後も可能な限り前倒しの発注や工期の確保に努めていきたい。


▲市内商工関係団体からの要望書

新型コロナウイルス感染症対策に対する議会の取組み

伊賀市議会災害対策会議を設置しました（４月30日）

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、政府が４月16日に緊急事態宣言の対象地域を全国に拡大したことを受け、三重県においても４月20日に「三重県緊急事態措置」が発表されました。

伊賀市でも当該感染症にかかる対策本部が設置される中、市議会としても、市対策本部と連携し、感染拡大防止、疲弊していく市内経済への対応や市民生活の不安解消への取り組みを行っていく必要があることから、**災害対策会議を設置**しました。

【伊賀市議会災害対策会議の構成員】

議長、副議長、議会運営委員長及び常任委員長

【災害対策会議における協議内容】

新型コロナウイルス感染症に係る伊賀市議会の対応マニュアル等の作成及び市に対する要請について協議しました。

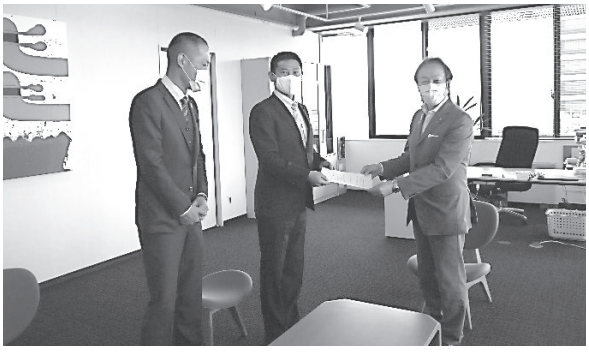
▲伊賀市議会災害対策会議の様子

新型コロナウイルス感染症にかかる要請（５月１日）

次の事項について、速やかな対応を講じられるよう市長に対し要請を行いました。今後も市議会では、新型コロナウイルス感染症対策にかかる調査等を行い、必要に応じ提言等を行う予定です。

1　市民及び市内事業者の不安解消の観点から、新型コロナウイルス感染症対策にかかる国・県・市などの支援制度を含めた**伊賀市としての対応・相談窓口一覧表を随時更新・整備し、市民及び市内事業者への周知を図ること。**

2　市職員が濃厚接触者または感染者となった場合や市庁舎内でクラスターが発生した場合の全庁的な基準を策定したうえで、**各部署における対応マニュアル等を整備し、必要最低限の行政機能の確保に努めること。**



新型コロナウイルス感染症対策にかかる市民の声を届けました　（５月13日）

新型コロナウイルス感染症対策について、市民・事業者が感じている不安要素、疑問点、要望等を取りまとめ、市長に情報提供しました。

【市民の声（主なもの）】

○伊賀市独自のコロナ対策がうたれていない。また、スピード感がない。
○中小・小規模事業者の実態、コロナによる影響を掴み、廃業にならないよう独自支援をすること。
○固定資産税や水道利用料金の減免もしくは納付猶予期間の設定（事業者と個人）。
○長期休校による、子どもたちの学力・体力の低下。
○福祉の現場において、マスク・消毒液が足りない。
○医療機関及び介護･障がい福祉施設に、十分な医療用マスク、医療用ガウン、防護服、手袋、フェイスシールド、消毒液を提供すること。

※取りまとめは、５月1日～11日にかけて行ったものです。

一般質問 市政を問う

従来の質問時間45分間を20分間に短縮

6月定例会の一般質問は、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び、執行部職員の負担軽減を図る観点から、6月11日の1日間で行われ、14人の議員が市の諸問題についての質問をしました。その主なものを掲載しています。

【QRコードで録画映像をご覧いただけます。】

中谷 一彦 議員

質問項目

●職員に対する働きかけ

問 市職員の休職者数の現状は

一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会が実施した平成28年度の342団体77万人の調査によると、10万人当たりの休職者数は2,406人、メンタル不全は1,301人です。伊賀市の人数を教えてください。

答 令和元年度の休職者数は21人です

そのうち、うつや適応障害といった不安障害による休職者数は15人です。令和2年度については、休職者数14人でそのうち7人がメンタル不全です。

問 各議員からの対象となる働きかけは

職員にその職務上の行為をさせるようにまたはさせないようにするためになされた行為を記載し、所属長に報告されていますか。また、不当要求行為への対応に係る研修は実施されていますか。

答 ありません

記録票の提出はいずれの部署も0件です。不当要求行為に関する研修については、三重県市町総合事務組合で開催される研修を全庁に案内し、受講しています。

QRコード▶

宮崎 栄樹 議員

質問項目

●コロナ後の未来像を踏まえた“食と農のまちづくり”

問 地元経済圏を守り、強くする仕組みづくりは

新型コロナ感染拡大によって、モノやサービスを地域外に依存することの脆弱さが浮き彫りになりました。地域内でモノやサービス、お金が循環し、必要なものが必要なときに供給されるように“地元経済圏”を守り、強くする仕組みが必要です。市の考えは。

答 産業振興条例の制定に取り組みます

産業基盤の安定や強固ならびに地域経済の循環や活性化をはかり、就労機会の増大及び安心安全な市民生活を確保することなどを盛り込んだ産業振興条例の制定が必要であると以前から考えています。新型コロナによる経済活動への影響も踏まえ、条例制定に取り組みます。

問 学校給食費の無償化の延長を

新型コロナ対策支援として、学校給食費が3ヶ月間無償化となりました。子育て世代の支援や公教育の無償化のために、もうひと踏ん張り頑張れませんか。

答 しっかり研究します

QRコード▶

生中 正嗣 議員

質問項目

●教育行政を問う

問 公立義務教育の学級編成は

編成基準と2クラスになる条件はありますか。

答 小学校の1・2年生は35人、3年生以上は40人で、それ以上になれば2クラスに分かれます

問 教室の個人ロッカー数が少ないのでは

編成数の上限が40人にも関わらず33人分しかないのはなぜですか。

答 満たしています

横に12名分のロッカーがあります。

問 ロッカー数についての市長のご所見は

市長は「子どもは伊賀の宝」とよく言われますが、個人ロッカーが使えない子どもの気持ちと、校区再編計画の主たる目的である教育環境の整備に反して教育費を削減し、他の財源に支出していませんか。

答 設備について特段の課題があるとは思いません

設備も大事ですが、すべての子どもたちに均しく教育の機会が与えられること、能力をサポートし折れない心を育てる教育が大事であり、自立する子どもたちを育てることをめざします。

QRコード▶

☆一般質問☆　本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

北森 徹 議員

質問項目

●定住自立圏の現状と今後

問 圏域住民の一次救急、二次救急の対応状況は

答 定住自立圏の皆さんの安心した生活のために取り組んでいます

救急医療や応急処置の相談に 24 時間対応している伊賀市救急健康相談ダイヤル 24 事業や、応急診療所管理運営事業を定住自立圏に広げて取り組んでおり、圏域でのご利用を広報紙に掲載している自治体もあります。

問 他地域からの受け入れがあれば、医療体制の充実が必要となりますが、具体的な対応は

答 より質の高い医療が提供できるように取り組んでいます

救急患者を含め、来院患者を受け入れることが義務であり、医師、看護師不足の解消、スタッフの質の向上、市民病院と岡波総合病院との連携、機能分担等に取り組んでいます。

問 協定地域とお互いに観光 PR をしていますか

答 交流人口の増加を図っています

お互いの集客施設にパンフレット等を置き、相互に情報発信しています。

QR コード▶

信田 利樹 議員

質問項目

●新型コロナウイルス感染症対策支援

問 繁忙となる特別定額給付金業務対策は

特別定額給付金申請が返信され早く市民に給付するのにどの様な対策をしていますか。

答 1日 70 名態勢で

兼務辞令を発令し、1日 70 名態勢で書類の処理をしています。

問 申請しないと貰えないのは何故か

小中学生に図書カードを配布するのに、市内小中学校以外に通学している児童生徒は申請しないと貰えないのは何故ですか。

答 把握していないので

教育委員会ではどこの学校に行っているのか把握していないため、申請していただき渡しています。

問 郵送している市もありますが

他市では市内小中学校以外に通学している児童生徒には簡易書留で渡しているのに、何故同じ市内の子どもなのに申請しないと貰えないのですか。

答 学校教育の保障

図書カードを配るのは市が責任を負う学校教育の保障です。私立はそれぞれの対応をしていると思っていますが、申請をした人にはケアしています。

QR コード▶

赤堀 久実 議員

質問項目

●新型コロナウイルス感染症対策に伴う支援

問 子育て世帯に給食費 3 ヶ月分相当の支援を

自粛期間中、保育所を利用されなかった方に対して、保育料（0 ～ 2 歳）、副食費（3 ～ 5 歳）を減免されましたが、他の自治体では保育園（公立・私立）、認定こども園、認可外施設や未就学園児に対して給食費 3 ヶ月相当額を支給されています。市も子育て支援の観点から、分け隔てなくこのような支援をすべきでは。

答 実施する考えはありません

新型コロナウイルス感染拡大防止、予防の観点から 4 月 17 日～ 5 月 31 日までの間、登園自粛のお願いをし、ご協力をいただいた方には欠席日数に応じて保育料、副食費をいただかないことにしました。幼稚園、認定子ども園の幼稚園部分については、小・中学校と同様に休園し、給食費も 6 月から 3 ヶ月間は無料とさせていただきます。市として、決して子どもたちを分け隔てするものではなく、保護者の経済的負担軽減として対応させていただきます。

QR コード▶

☆一般質問☆　本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

上田 宗久 議員

質問項目

●学校のこれから

問 「GIGA スクール構想」の国の１次補正決定を受けて、本市の準備は進んでいますか

国は、学校の臨時休業が長引く中で「学びの保障」のために、すべての児童生徒に「１人１台の学習用タブレット端末」を配備し、オンライン授業や教職員の業務を支援する「GIGA スクール構想」を加速する前倒しを第１次補正で決定しました。これを受けて、県内の多くの市町でも、すでに６月議会に補正予算が上程されています。本市は、立ち遅れていませんか。予算措置とその計画についてお尋ねします。

答 年度内に「１人１台の端末」の配備を目標にします

市では、校内無線 LAN などの通信ネットワーク環境を整えるのと並行して、タブレット端末を市内小・中学校のすべての児童生徒に年度内に配備したいと考えています。予算措置については、国の第２次コロナ対策の補正予算が決定次第、調製に取り掛かりたいと考えています。

QR コード▶

安本 美栄子 議員

質問項目

●コロナ禍での新生活様式の確立に向けて

問 授業の遅れ（コロナ禍）対策は子どもの心に寄り添っているか

授業の遅れについて文部科学省は最終学年を除いては次学年への繰り越しも示唆していますが、市は夏休み等の短縮で不足する 22 日間の確保を決めたとのことです。時間数だけの目標で、過度な詰め込みとならないか、子どもたちの心がついていけるのか、マニュアルは作られているのか、おたずねします。

答 子どもたちの思いを聞き生活を元に戻すよう努めます

５月 19 日から教師が一人ひとりの様子を聞きながら、児童・生徒半数で半日の登校を４日間続けました。「休みをどう過ごしていたか等」思いを聞き、充分な時間がとれたように思っています。学習の進め方は、夏休みの短縮で、授業日数を確保し、余裕をもって授業をスタートします。

学校マニュアルについては、文部科学省から Q & A が届いていますが、子どもたちの感染予防として、ウイルスを学校へ持ち込ませないよう、あらゆる手段を行っていきます。

QR コード▶

市川 岳人 議員

質問項目

●コロナ禍における支援と新しい社会

問 避難所運営について新型コロナウイルスに合わせた対策をどのように行っていきますか

三重県は避難所運営マニュアルを改訂しましたが、市のマニュアルをいち早く改訂し自主防災組織を支援していくべきではありませんか。

答 三重県の改訂に合わせ地域の避難所運営を支援していきます

実践的なものとするため、地域が地域に合った避難所運営マニュアルを自ら策定し、避難所運営訓練も行っていただく、そのようなことができるよう支援していくのが市の務めです。今回、県が感染症予防に関する記載の追加等の改訂を行った避難所運営マニュアル策定指針を活用し、マニュアル策定の推進を図っていきたいと考えています。なお、避難所運営マニュアルの策定に至っていない地域もあることから、市が感染症対策のために簡易的に作った避難所開設・運営マニュアルの周知を図っていきたいと考えています。

QR コード▶

☆一般質問☆　本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

百上 真奈 議員

質問項目

●市営住宅の駐車場管理

問 疑惑を認める証言等はありましたか

八幡町の公有地における駐車場管理について、八幡管理組合の会計処理の適切性、公有地使用料の算出根拠及び金額の適切性を明らかにするため、21人に聞き取り調査が行われました。二つの団体による駐車料金の分配及び、職員の関わりに関する証言や証拠はありましたか。

答 ありました

平成30年度に一定の金額が自治会に入金されていた事実がありました。また、職員の関与があった事実というのは否定できないというふうに考えています。4月16日までで追加調査は終了し報告書をまとめて、今後、市がとるべき対応を検討してまいります。

問 市長の対応は

疑惑の解明は市長にしかできません。今後、どのようにされますか。

答 間違っていたとするならば正さなければなりません

公平性・公正性・透明性のある運用にしていくことが何よりも大切だと思っています。

QRコード▶

田中 覚 議員

質問項目

●不要不急

問 執行残や予算の組み替えは

新型コロナウイルスで、新しい社会の創造が求められています。

実質GDPは消費税増税から落ち込み、その上、感染拡大防止で景気が悪化すると内閣府は予測しています。その影響で市税収入が落ち込むと、市民サービスの量や質も低下します。不要不急の観点で、社会経済活動や新しい生活様式に舵を切り替えるべきではありませんか。

答 執行残は有効に使っていきます

問 伊賀市に覚悟はありますか

兵庫県加西市は5月に、ひとり親家庭や小規模事業者支援のために、報酬を削減して寄付を募る基金を創設しましたが、市に覚悟はありますか。

答 減額は本質論ではありません

自治体によって、体力や財政状況が異なります。足りなければ、行政が起債（借金）を起こすべきです。

問 伊賀市域内の経済振興政策のお考えはありますか

答 発注の平準化、事業の前倒しをしています

実際の事業は早急に見極めていきます。

QRコード▶

山下 典子 議員

質問項目

●防災・減災対策

問 AED（自動体外式除細動器）設置の助成制度を

心肺停止状態に陥った時、傷病者の近くに居合わせた人が速やかにAEDで救急処置を行うことにより救命の可能性は高まります。地区で設置する場合の助成制度は。

答 地域包括交付金や「キラッと輝け地域応援補助金」の制度を活用することができます

問 避難所でダンボールベッドの導入を

感染症予防のため避難所の生活環境の抜本的改善が必要です。感染予防にもなり軽量で持ち運びが便利なダンボールベッドを積極的に導入するべきと考えますが、市の取組みは。

答 協定等により積極的に導入します

現在、すでにダンボール間仕切りを500区画備蓄しています。また、令和2年2月に、災害発生時にダンボールベッドやダンボール製シート、ダンボール間仕切り等の支援を受ける内容の協定を二社と締結しています。今後も、こうした防災協定を積極的に締結していきます。

QRコード▶

☆一般質問☆　本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

一般質問

福村　教親　議員

質問項目

●新型コロナウイルス感染症対策での休校による影響への対応

問　子どもたちの心のケア対策の窓口及び報告の状況は

答　スクールカウンセラーを配置していますが、現在大きな問題の報告はありません

6月1日から通常授業に戻り元気に通学していますが、学校行事や子ども達との触れ合いに関しては、まだまだできない状況です。

問　マスクを取る時期の判断は

答　伊賀市独自の判断で進めます

各学校の状況を聞き取り、校長会を通して判断します。

問　失われた授業時間への対応は

答　夏休み20日間、冬休み2日間の短縮を考えています

授業時間の消化だけではなく、行事等も大切と考え、修学旅行や運動会、クラブ活動の対外試合も含め対策を打ちながら進めていきます。

問　職員の加配は考えているか

答　進めていきます

教育委員会の判断に従い進めていきます。

子どもたちと一緒に考え、この苦難を乗り越え、的確な判断・スピード感を持って対処していくことが大切と考えています。（市長）

QRコード▶

川上　善幸　議員

質問項目

●新型コロナウイルス感染症に関する課題と支援

問　市内の人工透析4病院の連携と市民病院の役割は

市内では市民病院、岡波総合病院、亀田クリニック、竹沢内科歯科医院が人工透析を実施しています。患者が新型コロナウイルスに感染してしまうと重症化しやすく、民間病院の現場では危機感と覚悟をもって体制を整え仕事にあたっていますが、市民病院としての役割をどう考えていますか。

答　市民病院として最大限の支援をします

市民病院には約50名の人工透析患者が通院されており、従来以上に院内感染対策を行っていますが、新型コロナウイルスの感染者が発生して人工透析が出来なくなった場合は、市内の3つの病院に協力をお願いすることもあります。逆に市内の病院で人工透析が出来なくなった場合は、一定期間であれば現在は行っていない午後から夕方にかけての時間帯で、50名程度受け入れが可能であり、市民病院として最大限の支援をします。

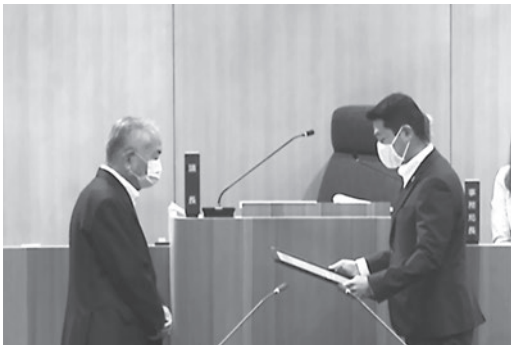
QRコード▶

☆一般質問☆　本文は、質問者が執筆したものを掲載しています

議員永年勤続表彰

第96回 全国市議会議長会 定期総会及び第103回 東海市議会議長会 定期総会において、中岡久徳議員が永年勤続表彰を受け、議長からその伝達が行われました。

議員永年勤続25年特別表彰　中岡　久徳議員



令和元年度の政務活動費を報告します

交付の趣旨　政務活動費は、地方自治法の規定づき、議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付されるものです。

交付対象と額　請求のあった議員に、半年分一括して交付されます。（月額2万円）

報告　交付を受けた議員は、使途基準に従って支出し、領収書等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出します。

返還　残額がある場合は、返還します。

収支報告書写しの閲覧　場所：議会図書室（市役所本庁舎5階）
時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ホームページでの公開　収支報告書は、市議会ホームページでも公開しています。

QRコード▶

◆参加した研修のテーマの一部をご紹介します◆

- 議会改革と予算修正案のつくり方
- 現代政治のマトリクス－リベラル保守という可能性
- 議会活性化のための船中八策
- 幼児教育・保育「無償化」と保育行政
- 「無償化」・規制緩和策の影響と自治体の保育・学童保育行政
- 住民のくらしを守る社会保障
- 地方自治体は子どもの問題に何ができるか
- 超高齢社会の現状と地域包括ケアシステムによるまちづくり
- 医療的ケアを必要とする人への支援の最前線
- 地域循環型経済と一人ひとりが輝く地域づくり
- 地方行財政の課題
- 新時代到来！～地方はどう生き残るか～

議員氏名	交付額（円）	交付対象額（円）	残額（円）	報告内訳				報告額合計（円）
				調査研究費 視察等の調査研究に関する経費	研修費 研修会等に参加する経費	資料作成費 活動に必要な資料を作成する経費	資料購入費 図書や資料等を購入する経費	
川上　善幸	240,000	216,573	23,427	146,474	70,099	0	0	216,573
北森　徹	240,000	125,608	114,392	63,648	56,299	0	5,661	125,608
信田　利樹	240,000	36,910	203,090	0	0	0	36,910	36,910
西口　和成	240,000	240,000	0	110,334	98,139	34,661	0	243,134
福村　教親	240,000	240,000	0	112,643	100,795	17,091	17,103	247,632
宮﨑　栄樹	240,000	208,823	31,177	27,340	105,090	0	76,393	208,823
桃井　弘子	240,000	5,670	234,330	0	0	5,670	0	5,670
山下　典子	240,000	237,400	2,600	0	159,640	0	77,760	237,400
市川　岳人	240,000	145,195	94,805	101,654	0	19,620	23,921	145,195
赤堀　久実	240,000	183,052	56,948	53,063	117,632	0	12,357	183,052
嶋岡　壮吉	240,000	230,331	9,669	99,306	0	0	131,025	230,331
田中　覚	240,000	240,000	0	300,000	0	0	16,000	316,000
福田　香織	240,000	89,202	150,798	53,063	0	16,568	19,571	89,202
森川　徹	240,000	189,353	50,647	162,680	0	26,673	0	189,353
生中　正嗣	240,000	189,876	50,124	121,043	0	9,069	59,764	189,876
上田　宗久	240,000	240,000	0	146,474	56,299	19,620	22,644	245,037
近森　正利	240,000	138,429	101,571	53,063	62,556	19,620	3,190	138,429
中谷　一彦	240,000	163,133	76,867	60,063	65,290	0	37,780	163,133
百上　真奈	240,000	79,384	160,616	19,380	44,560	0	15,444	79,384
北出　忠良	240,000	189,881	50,119	141,837	0	16,568	31,476	189,881
空森　栄幸	240,000	175,073	64,927	141,837	0	0	33,236	175,073
岩田　佐俊	240,000	225,417	14,583	146,474	56,299	0	22,644	225,417
安本美栄子	240,000	158,822	81,178	99,306	54,320	0	5,196	158,822
合　計	5,520,000	3,948,132	1,571,868	2,159,682	1,047,018	185,160	648,075	4,039,935

※中岡久徳議員は、交付申請がないため掲載していません。
※「広報費」、「広聴費」、「会議費」、「人件費」、「事務所費」については全議員支出がなかったため、掲載していません。

令和２年９月定例会日程（予定）

9/1（火）	本会議（開　　会）	午前 10 時～
8（火）	本会議（一般質問）	同上
9（水）	本会議（一般質問）	同上
10（木）	本会議（一般質問）	同上
11（金）	本会議（一般質問）	同上
	上記終了後決算常任委員会	
15（火）	予算･決算を除く各常任委員会	同上
	上記終了後（※）決算分科会	
16（水）	予算･決算を除く各常任委員会	同上
	上記終了後（※）決算分科会	
17（木）	予算･決算を除く各常任委員会	同上
	上記終了後（※）決算分科会	
28（月）	決算常任委員会	同上
	上記終了後予算常任委員会	
10/2（金）	本会議（閉　　会）	同上

・会議は市議会議場または委員会室で開催します。
・定例会の日程は、変更になる場合があります。

（※）本年から決算議案は、総務・教育民生・産業建設のそれぞれ３つの常任委員会委員で構成する決算分科会を設けてより詳細な審査を行うこととしています。

会議の内容を閲覧できます

市議会本会議等の会議録は伊賀市ホームページや議会図書室（冊子）でご覧いただけます。

令和2年6月定例会の会議録は9月1日以降となります。
なお、会議録が出来上がるまでの間は、ホームページで音声をお聴きいただけます。

ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501
伊賀市議会事務局「議会だより感想」宛
TEL 0595-22-9687　E-mail gikai@city.iga.lg.jp
FAX 0595-24-7901
ホームページ http://www.city.iga.lg.jp

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を貸出ししています。
希望される場合は、上記までお問い合わせください。

議会の傍聴に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、議場、委員会室及び全員協議会室で開催される会議の傍聴は、当面の間、自粛いただきますよう、ご協力をお願いします。

市議会（本会議・予算常任委員会）の様子は、行政チャンネル（ケーブルテレビ）で午前 10 時から放送しますので、できる限りそちらでの視聴をお願いします。（再放送は午後７時から）

なお、どうしても傍聴を希望される場合は、次のことをお願いしています。

⑴ マスクの着用と咳エチケット、手洗い・手指消毒の徹底をお願いします。
⑵ 傍聴席では、他の傍聴者と間隔を空けて着席をお願いします。
⑶ 熱（37.5 度以上）がある場合や、体調不良（だるい、咳が出るなど）の場合は、傍聴をお控えください。

※傍聴再開等の情報は、随時「伊賀市議会ホームページ」でお知らせします。

８月タウンミーティング開催中止のお知らせ

昨年から実施している８月の「議会タウンミーティング」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。

「議会タウンミーティング」は議員が市民の皆さまから直接ご意見をお聴きできる貴重な機会です。このため８月開催に向けて企画・準備をしていましたが、３つの密が避けられない状況のため、やむなく中止を決定しました。

今後も市議会では様々な機会を通して市民の皆さまからのご意見をお聴きしたいと考えていますので、なにとぞご理解いただきますようお願いします。

編集後記

今年度も“応援します‼夢追い人”シリーズを継続いたします。今回の「ふるさとづくり上高尾の会」のみなさんは、理念やビジョンをはっきり描きながら活動されていました。何のためにやるか。広報づくりも同じだなと思います。市民のみなさんの議会に対する興味や関心、理解度、信頼度を高めていくために、より良い紙面づくりに取り組んでいきたいと思います。

（広報広聴副委員長　宮崎）

次号は 11 月１日です。
発行：伊賀市議会
編集：伊賀市議会広報広聴委員会

応援します!!

夢追い人 第4弾

今回は、伊賀市の最南端にある上高尾地区にお伺いし、「ふるさとづくり上高尾の会」のボーイズ＆シスターズのみなさんを取材しました。

ええとこやねん！上高尾をみんなに知ってもらいたい!!

――「ふるさとづくり上高尾の会」はどのような会ですか。また、会の活動内容を教えてください。

山口会長：市内で高齢化率 66％と最も高齢化が進んでいるこの上高尾地区を残したく 10 年前に有志で会を発足しました。上高尾のいいところを知ってもらうために、様々なイベントでお客様をお迎えしています。主な活動は、※ハナレでの月 1 回のシスターズレストラン、にこにこルーム（健康寿命を高めるサロン活動）、藁灰（わらばい）こんにゃくづくり、京阪神地区住民との交流や大学生・高校生との交流、いがぶらのイベント参加など、言い出したらきりがありません。

―― 会のメンバー構成を教えてください。

ボーイズ：ボーイズ 7 名、シスターズ 8 名、合計 15 名で活動しています。平均年齢 71 歳で頑張っています。

―― みんなで一つのことをやり遂げるには随分エネルギーがいると思いますが、10 年間続けられた秘訣はなんですか。

ボーイズ：上高尾へたくさんの人が来てくれるのが楽しみで頑張れるんです。何より仲間がいいからね。みんなには自分が思ったことが言えますね。通算 118 回開催している月 1 回の定例会（作戦会議）も長続きの秘訣ですね。

シスターズ：（口々に）楽しいー。自分の得意分野（料理・お菓子作り・盛りつけ・生け花など）を認めてもらって、それを活かせることがうれしいです。自分の居場所が見つかったと思いました。

ボーイズ：大阪から子どもたちが来てくれるんやったら、しんどいけど頑張ろかとなる。それを一度やめるとそこで切れちゃうことになりますね。

―― シスターズレストランについてお聞かせください。

シスターズ：レストランは月 1 回の営業ですが、口コミでお客様が増えてきたため、今では二部制で営業しています。70 ～ 80 人のお客様の対応は大変ですけど、何より楽しいんです。献立も最初の倍になるくらい品数が増えました（笑）。来て下さったお客様の笑顔を見て、終わった後はみんなで「ヤッター」という感じです。

―― 会の将来について、みなさんはどんな夢をお持ちですか。

山口会長：早くコロナ禍が落ち着き、みんなが夢、希望、笑顔を取り戻し、会の事業を再開したいと思っています。

谷浦事務局長：シスターズレストランは月 1 回営業ですが、その合間に「ハナレ」でカフェをしたいという若者の支援をします。そのほか、地元の人から譲っていただいた古民家※「二瀬屋（ふたせや）」で自分たちの活動資金づくりのために民泊が出来たらいいなと思います。それとやはり新たな後継者を作り、みんな健康でこの会を続けるのがいちばんの夢です！それが取りも直さず「上高尾を残す」ことに繋がると思いますので。

※「ハナレ」…国や県の補助事業を活用して廃校になった校舎を改修し、会が運営している交流拠点施設。

※「二瀬屋」…ハナレに隣接している空き家の寄贈を受け、会が運営している交流拠点施設。

耳を澄ませば、前深瀬川（まえふかせがわ）のせせらぎ、鳥のさえずりが聞こえ、ゆったりとした風が心地よい上高尾でした。みなさんもこの自然豊かな上高尾を訪ねてみてはいかがでしょうか。おもてなし上手なボーイズ＆シスターズがお待ちしています！

▲「ふるさとづくり上高尾の会」ホームページはこちら。